



47.7.28  
発行 別冊  
編集 別冊  
編集 別冊

### 当別町総合グラウンド

#### 第二期工事着工

七月二十日進捗準備完了

二十日十時三十分から総監代理として兼

十師団副師団長田口博樹を御迎え

して当別西側の高台で着工式を挙行

。この後町内心盡くしの祝賀会に参加

全町挙げての期待と任務の重要性

を認識したと喜びました

おめでとうございませう

#### 町民の皆林

二十五日九時三十分 群長は北野

三佐と共に来当とれ御指導を受け

ました

#### 作業隊長三尉石丸寛三

出身 佐賀縣 佐賀市 鍋島町

趣味 読書、読書、読書

家庭 三歳目の男の子が今年五月

誕生、家内は専業主婦、女中が生かす

自衛官募集(各種免許を取得しよう)

### 当別町



人口約八千人  
世帯約四千五百  
札幌支庁 三十三

#### 町名の由来

当別はアイヌ語でトラバツから転化した  
七のこの意訳は沼か池、30川の意で  
ある。町章の田は太陽と自然の恵みを表  
わし、調和を意味し、田の中「別」とは当  
別町の頭文字でその形態は若い世代の  
飛躍、前進の姿を表わす。昭和四十五年  
五月制定

#### 開基明治四年(一八七二年)

三月旧仙台支藩伊達邦直築一面移民  
百卒九名を以て空堀に上陸、千七  
丸焼を経て取富に到着五月当別を  
踏査す八月石丸、当別間の道路を開  
き移転を計画

昭和二十五年十月開基八十周年記念契  
。昭和三十三年十月当別米十石表出如何  
。昭和四十二年十月当別米四十石表出如何

#### 工事の目的

申請書にも表われているように恒民の最  
も要望の強い総合グラウンドを建設し恒民  
の健康増進、体位向上を図るとあり、  
非常に又ホーツの盛んな所、体育館、小中学校  
は夜九時頃まで何を練習し競技が行われ  
ていませう

#### 当別所見

自衛隊自動車共にかかり、恒民の健康増進  
に資する。又の人は札幌に近づくにつれて  
服装等、容姿も若く、若くも若くも若くも  
いよと見受けたり、あなかな、夏、アラス  
ミ、ニのセ、はかり、でもなとせう、一度来当  
させ、みれば、(若くもを離れて、は、ええ  
ま、が、一週、日、に、は、な、い、と、思、い、ま、す、と)

#### 作業隊の現況(名物?)

一、各居室は八畳から十畳に四、五名  
がおり、奥のなる木の部屋(旅館?)  
(さくら、もも、くり、びん)に起居、一、暑  
はか快適快適。(全国的に暑い、ん、な、い、を  
せいたく)みかん、五名異常な(栄誉)  
一番忙し、夏井三曹、朝は炊事員と共に  
起き、電算機片手に帳法の整理、夜は  
委員会と調整、交洋、先任の教えを受け  
床に就くのは、い、も、す、時、明日は、先任指不  
を頼りに忙か、く、走、り、廻、る、こ、と、を、う、う、

(聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥、恥はか、百身  
一、ま、む、し、の、戦、果、末、な、し、

二十四日着工の日見た、か、思、い、な、い、と、か、  
道具一式持、え、構、え、る、レ、ン、ジ、ャ、ー、出、身、  
あまり準備、か、よ、す、と、述、げ、な、か、た、マ、ム、シ、

原隊(築、三、施設、大、隊) 若くも、か、よ、り、

一、大、隊、は、現、在、体、力、増、強、月、間、で、連、日、一、

か、ら、全、員、屋、外、に、出、て、汗、を、流、し、

二、中、隊、は、軍、人、勅、諭、の、建、立、(武、魂、の、林)

作業を実施中八月十五日を目途

にかん、は、こ、す、

三、八月一日付で陸軍の移転がある。

#### 編集後記

ワ、ル、二、世、の、去、年、更、進、した、我、が、三、施、大、隊、別、冊、業、績、  
発行した、二、世、の、二、代、目、の、二、世、の、去、年、の、成、果、一、冊、も、  
か、ら、二、世、の、二、代、目、の、二、世、の、去、年、の、成、果、一、冊、も、  
不、定、期、に、思、い、ま、す、か、ら、二、世、の、去、年、の、成、果、一、冊、も、  
下、さ、す、ま、は、思、い、ま、す、か、ら、二、世、の、去、年、の、成、果、一、冊、も、  
二、三、二、三、を、知、ら、せ、下、さ、す、ま、は、思、い、ま、す、